

# 情報誌101号を新たなスタートに

園長 小松 守

当園の情報誌「コミュニケーション」が前回100号の節目を迎え、本号から新たな歴史を重ねていきます。本誌は動物園の情報を「伝える」ためにあるのですが、何を伝えるかが大事になります。情報の「情」には「こころ」の意味もありますが、動物園が伝えたい「こころ」や「思い」とは何か、整理してみたいと思います。

動物園は来園者に動物との出会いを提供し「動物理解」につなげる努力をしています。来園者にどのくらい動物のことを理解いただいているのか、検証することは難しいですが、動物を知り関心を高めていただくことで、動物が生きる自然環境にも思いが広がり、それが動物保護や生息環境保全に広がってほしいと考えています。

もう一つ大事なことは「動物園理解」につなげることでしょう。動物園が行う展示活動は派生的な広がりを伴っています。動物園という空間は家族や友人との「憩いの場」になり、学校の利用では「命の教育の場」に、研究機関との関わりでは「動物探求の場」にも結びついています。多くの人が集まる動物園は、観光資源の一端を担うなど重要な都市機能として、街づくりにもつながっています。こうした動物園の存在意義を幅広く理解していただくことは、動物園にも支えていただく市民にも大事なことだと思います。

本誌は大森山動物園と本園の動物を理解していただくための重要な役割を果たしています。今回、101号を新たな気持ちでスタートしたいと思います。

こんにちは!

あかちゃん

2020年8月以降に大森山で生まれた赤ちゃんをご紹介します。

カナ(8月19日)



キョン

8月11日に1頭が生まれました。5月に次いで2頭目の繁殖で、当園のキョンは全部で5頭になりました。とても臆病な動物のため、物陰に隠れて見えづらいこともあります。歩き方がとてもかわいらしいです。



チリーフラミンゴ

9月13日に1羽がふ化しました。生後2週間から親と同じく一本足で立っていました。親から口移しでフラミンゴミルクをもらいすくすく成長しています。

フラミンゴのヒナ(10月8日)

元気でね!

大森山を後にした動物たち

ツキノワグマ

11月17日にオスの「バッケ」が富山市ファミリーパークへ旅立ちました。バッケは2019年2月に当園で生まれ、やんちゃで元気いっぱいの人気者でした。富山でも元気でね。

このほか、ニホンイヌワシの「涼風」やコモンマーモセットの「麦」と「海」、フンボルトペンギンなどが他の動物園に旅立ちました。



バッケ

よろしくね!

## 仲間入った動物たち

パパイヤ



### フクロテナガザル

10月28日に日本モンキーセンターからオスの「パパイヤ」が、11月6日に九十九島動植物園からメスの「ワタル」が、新たに仲間入りました。当園では初めての飼育展示となります。躍動感あふれる動きと、喉の袋を使って発声する大きな鳴き声の特徴です。

ワタル



ゼン



### ホンダタヌキ

秋田でもなじみのあるホンダタヌキ2頭が、11月9日に香川県のしるとり動物園から仲間入りました。名前は「ゼン」と「タン」です。体の大きさが本州のタヌキと比べるとやや小柄です。普段は巣箱にこもっていますが、エサの時間などは外に出ています。

タン

ルミ



### トナカイ

メスの2頭が那須どうぶつ王国から来園しました。名前は「ルミ」と「グラッセ」です。秋田の環境にも少しずつ慣れていきます。全部で5頭になったトナカイの群れは見応えがあります。

グラッセ



### 飼育動物数 (2020年12月末現在)

|     |     |      |
|-----|-----|------|
| 哺乳類 | 50種 | 343点 |
| 鳥類  | 26種 | 148点 |
| 爬虫類 | 11種 | 23点  |
| 両生類 | 2種  | 4点   |
| 魚類  | 3種  | 22点  |
| 無脊椎 | 1種  | 23点  |
| 合計  | 93種 | 563点 |

忘れないよ…/

## 訃報



### スバルバルライチョウ

8月19日にオスの「白」が亡くなりました。2017年3月に那須どうぶつ王国から来園し、真っ白でまん丸な体型が愛くるしかったです。

タケル



### ラマ

オスの「タケル」は、10月23日に亡くなりました。2001年5月に当園で生まれ、小さいときからみんなの人気者でした。

メスの「アンズ」は、2013年5月16日にタケルとアンナの間に生まれました。「動物パレード」や「お散歩タイム」で人気でした。12月7日に亡くなりました。まだ7歳と若かったので残念です。



### アンズ



### シバヤギ

信濃丞は2011年12月7日に長野市茶臼山動物園から来園しました。「八木信濃丞」という立派な名前の持ち主でした。たくさんの子どものお父さんとして頑張りましたが、昨年6月頃から調子を崩し、11月27日に亡くなりました。

しなのじょう  
信濃丞

このほか、コモンマーモセット、アライグマ、ニホンザルなどが死亡しています。